

請 願 文 書 表

(平成30年6月15日)

<p>受理番号・受理年月日及び件名</p>	<p>請願第29号 (30. 6. 6) 核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を要請する意見書提出を求める請願</p>
<p>請 願 の 要 旨</p>	<p>国際法史上初めて核兵器を違法なものとした核兵器禁止条約が、平成29年7月7日の国連会議で国連加盟国の約3分の2に当たる122か国の賛成で採択された。</p> <p>核兵器禁止条約は第1条において、核兵器の「開発、実験、生産、製造」及び「保有、貯蔵」さらにその「使用」と「使用の威嚇」を禁止し、条約締約国に対し、自国の領域又は自国の管轄若しくは管理の下にあるいかなる場所においても、核兵器又は核爆発装置を配置し、設置し、又は配備することを禁止している。昨年9月20日にはニューヨークの国連本部で署名式典が開かれ、賛同する国々による署名と批准の手続が始まっている。この歴史的な核兵器禁止条約採択への貢献が評価され、昨年12月10日にはノーベル平和賞が国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)に授与された。</p> <p>平和首長会議は平成29年8月の第9回総会で、「人類の悲願である核兵器廃絶への大きな一歩となる『核兵器禁止条約』の採択を心から歓迎する」「核兵器保有国を含む全ての国に対し、条約への加盟を要請し、条約の一日も早い発効を求める」とする「核兵器禁止条約の早期発効を求める特別決議」を可決した。</p> <p>しかし、日本政府はアメリカなど核兵器保有国と共に核兵器禁止条約に反対し、調印を拒否している。人類で唯一被爆の体験を持つ国の政府として、日本政府が支持し、積極的に推進すべきものである。</p> <p>非核「神戸方式」を決議している神戸市として、核兵器のない世界を望む国内外の広範な世論に応え、唯一の戦争被爆国である日本は率先して取り組むよう、核兵器禁止条約に賛同し、調印することを要請する意見書を政府に提出するよう請願する。</p>
<p>請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 新日本婦人の会 中央支部 支部長 大 西 照 美 ほか8名</p>
<p>紹 介 議 員 の 氏 名</p>	<p>(代表) 松 本 のり子 あわはら 富夫</p>
<p>付 託 委 員 会</p>	<p>総務財政委員会</p>